

レジデンシャル事業（Noism Company Niigata）評価書

【期 間】 評価期間はNoismのシーズン（秋～夏）とする ※21 s t シーズン：R6年9月～R7年8月

【評 価】 A：要求水準（評価指標）を達成し、かつその達成度・内容が優れている（複数の指標の場合、全てを達成し、かつその達成度・内容が優れている）
B：要求水準（評価指標）が達成されている（複数の指標の場合、全てが達成されている）
C：要求水準（評価指標）が達成されていない（複数の指標の場合、全ては達成されていない）
※ 18 t h シーズン（市による評価） & 19・20 t h シーズン（財団による評価）と同じ

事業・活動	指標（アウトカム発現の裏付）	21st実績	自己評価	財団・市・外部有識者意見
文化度向上系 ・Noism公演（市内） ・Noism公演（市外） ・Noism公演映像配信 ・柳都会（対談企画） ・他団体依頼公演等 ・ダンスカンパニー運営 ・Noism 2 他 【アウトカム(最終)】 「芸術文化の継承・発展・創造・発信・交流」が盛んに行われている	1：Noism O, 1, 2新潟公演企画数【3企画以上／年】	3企画	B	【財団】 21stシーズンは、Noism O／Noism 1「円環」、Noism 2定期公演 vol.16、Noism O＋Noism 1「アルルの女／ボレロ」を劇場で開催した。指標2の新潟公演の来場者数は、19・20thシーズンで実施の学校貸し切り公演がなく指標を下回ったためC評価とした。来る22ndシーズンのNoism O・1夏公演は、これまでの「金土日3公演」から「土日2公演＋学校貸切公演＋土日2公演」に変更し来場者数の増加を図る。いずれの公演も99%以上の満足度を得たため指標3はA評価とした。なお「アルルの女／ボレロ」は専門家からも高い評価を得て、毎日・読売・公明新聞等の全国紙をはじめ、専門誌、Web上に公演評が掲載された。指標5の新規来場者率は21.5%でA評価。指標6の柳都会実施数は21stシーズンに第30回の区切りを迎え（R6年度）、22ndシーズンはこれまでのゲスト1人との対談形式を見直しゲストを複数人に変更のうえ実施する（R7年度）。これにより開催経費が増加するため21stシーズンの2回目の実施（R7年度）を見送った結果1回で指標を下回りC評価。指標8のレクチャー系講座は、芸術監督等による講演会が8回と指標を大きく上回りA評価となった。全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 多くの指標において要求水準を達成したことを評価する。指標5については、新規来場者を獲得するため、小学校のアウトリーチの際の働きかけなど新たな取組を評価する。一方、要求水準を満たさなかったもののうち、指標2では新たな取組を含め、指標の達成に努めていただきたい。指標6については、りゅーとびあにおいて、事前に計画を確認しながら、要求水準を達成できるように対応していただきたい。 【外部有識者】
	2：Noism O, 1, 2新潟公演の来場者数 【3,235人以上／年】	2,937人	C	
	3：Noism O, 1, 2新潟公演の満足度 【95%以上】	99.2%	A	
	4：Noism O, 1, 2県外公演企画数【2企画以上／年】	2企画	B	
	5：Noism O, 1, 2新潟＆県外公演の新規来場者率【10%以上】	21.5%	A	
	6：柳都会実施数【2回以上／年】	1回	C	
	7：金森穰氏（Noism芸術総監督）以外の振付家の招聘【1回以上／年】	3回	A	
	8：レクチャー系講座実施【3回以上/年】 ※公演時のアフタートークにおける公演解説を含む	8回	A	
	9：他団体との連携企画数（共催・受託等） 【3回以上／年】	6回	A	
社会包摂系 ・他団体依頼公演等（再掲） ・アウトリーチ ・ワークショップ＆オープンクラス 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	10：小中学校向けアウトリーチ実施数【10回以上／年】	23回	A	【財団】 指標10のアウトリーチは、新潟市内20の小学校に加え、新潟県企画「新潟県文化祭2024」により、上越市、十日町市の小学校3校を訪問。指標11のワークショップも数多くの依頼に応え県内外で8回。指標12は音楽事業のアウトリーチを参考に内容を改良したこともあり96.8%と高い満足度であった。いずれも指標を大きく上回ったためA評価とした。 【市】 各指標において要求水準を達成したことを評価する。 【外部有識者】
	11：ワークショップ実施数【3回以上／年】	8回	A	
	12：アウトリーチ参加者満足度【95%以上】	96.8%	A	
生きがい創出系 ・オープンクラス＆スクール ・活動支援＆寄付会員獲得 他 【アウトカム(最終)】 「多様な人（老若男女・障がい者等）が生きやすいまち・社会」になっている	13：スクール実施数【2企画以上／年】	1企画	C	【財団】 指標13のスクール実施数は、高校、大学ダンス部向けに行っていたものの対象者を指標14のオープンクラス受講に誘導する見直しを行い結果、サマースクール1企画のみの実施でC評価となった。オープンクラスは「バレエ」「レパートリー」等を実施した。いずれも年齢・対象（初心者、経験者）の異なる様々なクラスを用意、幅広い受講生にきめ細やかに対応し、指標15の満足度は100%と高くA評価とした。Noismの活動を資金面で支援する活動支援会員（公演チケットの割引等の対価性あり）は100名を超えているが、その半数超が市民であり指標値を1割程度上回り指標17はA評価とした。対価性のない寄付会員は指標値を2割程度上回り指標18はA評価とした。社会包摂系事業と合わせてC評価は1つだけ、全体として【レジデンシャル制度の目標・方針】【アウトカム】の実現に大きく貢献した。 【市】 多くの指標において要求水準を達成したことを評価する。指標13については、指標14へ誘導する見直しを行ったとのことだが、高校・大学のダンス部向けのオープンクラスの参加者数の状況や、見直しの効果を明らかにしていただきたい。
	14：オープンクラス実施数【3企画以上／年】 ※一般市民向け（バレエ・からだ大人・からだ子供・レパートリー等）	3企画	B	
	15：オープンクラス参加者満足度【95%以上】	100%	A	
	16：活動支援会員数【103人以上／年】	106人	B	

